

令和2年第1回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和2年1月16日(木)午後2時開会

2 場 所 天草市役所 第3会議室

3 本会議に出席した教育委員等

委 員	黒 鶴 進 治	委 員	行 合 八 恵 子
委 員	木 下 えり子	委 員	蓑 田 え り
委 員	吉 森 啓 司	教 育 長	石 井 二 三 男

4 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	長 元 忠	教 育 総 務 課 長	柴 田 和 人
学 校 教 育 課 長	本 多 俊 隆	生 涯 学 習 課 長	岡 田 恵
学 校 教 育 課 審 議 員	小 森 直 哉	学 校 教 育 課 課 長 補 佐	河 内 秀 幸
学 校 給 食 課 管 理 係 長	渡 邊 英 二	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	出 永 圭 史

5 本会議に付した議題等

(1) 協議・報告

- (1) 令和2年度天草市立幼稚園園児募集結果について (学校教育課)
- (2) 令和元年第4回市議会定例会一般質問の概要について (教育総務課)
- (3) 令和2年2月行事予定について (教育総務課)

6 会議の概要

(1) 開会

石井教育長： ただ今から、令和2年第1回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

(2) 前回会議録の承認

石井教育長： 前回会議録であるが、何か意見はないか。ないようであれば承認してよろしいか。

(全員承認する)

(3) 教育長報告

石井教育長： 成人式の出席については、お世話になった。感謝申し上げます。昨日、テレビを見ていたら目立ちたいということで服装と髪型に30万円から100万円かけているという成人者がいた。新和地区の成人式に出席したが、爆弾頭髪の成人者がいた。中学校の時から目立っていたということであった。しかし、他にあまり目立った成人者はいなかった。また、先日、倉岳のえびすマラソンに行ったら吉森委員が太鼓を叩かれていた。その姿は勇壮であったので、機会があればぜひ一度皆さんにも見ていただきたい。

(4) 協議・報告

(1) 令和2年度天草市立幼稚園園児募集について

石井教育長： 事務局から説明をお願いします。

本多学校教育課長： 本日配布した資料をお願いします。来年度の園児募集は1月10日で、募集を締め切っ

たところである。本渡北・南、亀場それぞれの幼稚園の申し込み状況を記載している。左側が来年度の1月10日現在の申込状況である。右側が令和元年5月1日現在の園児数である。ご覧のとおり3園とも今年度より園児数が減少している。現時点での来年度の園児数は91人で、今年度5月1日現在の園児数は113人であったので、22名の減少である。学級数は園児数を踏まえ編制することになるが、亀場幼稚園については募集段階から4・5歳児は混合保育を検討していたため、混合保育について検討していく。最終決定まではもうしばらく時間が必要である。

石井教育長：事務局から報告があった。何か質問等はないか。

行合委員：障がいをもつ園児数は何人いるのか。

長元部長：障がいをもつ園児または支援を要する園児数については、募集を締め切ったばかりで、これから健診等を行い把握することになる。昨年度の例で言うと3分の1程度の園児が、障がいをもつまたは支援が必要な状況であった。

木下委員：預かり保育が来年度から始まるということで、園児数が増加するのではないかと期待していた。園児数の報告を受け預かり保育をしても増加しておらず今年度よりも減少しているがこの状況を学校教育課としては考えていたのか。

本多学校教育課長：預かり保育については、10月の教育委員会定例会において実施概要を説明させていただいた。その後、関係機関と協議を重ねていたが、園児募集の際に預かり保育を実施すると記載していないため、影響ははっきり分からない。預かり保育については12月の市議会でも質問された。その中で市長が、令和2年度から始めると答弁されている。協議をしているところである。来年度は試行的に実施する。

木下委員：募集段階で預かり保育の実施について、周知されていなかったということであるのか。

本多学校教育課長：そのとおりである。

木下委員：入園申込者は知らなかったということであるのか。

本多学校教育課長：問い合わせはあったが、検討中と回答している。

長元部長：一般質問の概要に記載しているが、令和2年度中に試行的にスタートする。細かい内容また私立幼稚園との協議等もあり、はっきり保育内容が明示できなかったため、本年度の募集までは預かり保育の記載をしていない。園児数がかたまったところで、今後どの様に実施するのか決定する。

木下委員：私立幼稚園の園児数も減少しているのか。

本多学校教育課長：12月いっぱい募集が締め切られているが、子育て支援課にまだ情報がきていないので、まだ把握していない。

長元部長：子育て支援課で子育てに関する計画を策定している。パブリックコメントを募集していた。その中を見ても1歳から5歳までの人口は右肩下がりである。都市部では待機児童がおり、幼稚園・保育園のニーズはあるが、天草市の場合は待機児童が0で、母親が働いている割合が83%程度のため、伸びしろが少ない。幼児教育の無償化により都市部では希望者が増え、待機児童が増えているが、本市では大きく増えることはないと思う。1月10日に締めきり、集計中であるので傾向であるとか、幼児教育の無償化がどの様に影響しているのか、しばらく時間が必要である。

木下委員：見通しとして亀場幼稚園の園児が減少するようであれば、やはり統合または閉園を検討するのか。

長元部長：予算関係、人事及び将来の組織の中で、将来的に幼稚園をどの様にしていくのかは問われている。質問があったように小中学校は統廃合を進めてきた。また、公立保育所については民営化を進め公立保育所はほとんど民営化または閉園した。幼稚園はどうであるのかということになる。牛深幼稚園は数年前に閉園した。残り3園については、統廃合もしくは民営化の方向性を出す時期にきていると思っている。3園の入園者が増加する見込みがない中で、3園を維持し、かつ集団生活における教育には人数が重要であるので、維持が難しいということになれば統廃合も検討する必要がある。ただし、その中

でも公立幼稚園の役割、良さを残す形で検討しなければならない。本渡北・南幼稚園、亀場幼稚園については、これまでも障がいをもった子ども、支援が必要な子どもたちを積極的に受け入れ、それぞれの職員もノウハウを持っている。立地にしても3園とも小学校の敷地に隣接し、附属幼稚園的な形で幼小連携の核になってきている。役割の中で、そういった形で残していくのかを含めて、今後について考えていかなければならない。

菘田委員： 今、障がいのある子どもについて話があり、ノウハウを持っている職員がいるということで嬉しく思ったところである。通所支援所は小学校からあるが、未就学児に対してはない。通所支援所を開設しようとの動きがあるみたいであるが、まだ現実できる状況ではないようである。障がい児の教育に特化していくのも一つの方法ではないかと考える。せっかくノウハウを持っている職員を幼稚園の統廃合によって失うのはもったいない。

長元部長： 菘田委員からの意見は福祉関係の療育分野と教育分野の融合であると思う。市長も福祉分野に力を入れており、複合施設ここらすにも総合的な子育て支援センターができ、支援の形を作ることでなっている。保健センターと子育て支援課が一つとなって、新たな子育ての基幹的なセンターになることになっている。そこに教育の分野が上手く絡み合えばと個人的には思っている。おっしゃるように教育は教育、福祉は福祉ということではなく、上手く手を携えるような形でやっていくことを考えていかなければならない。

行合委員： 菘田委員の意見に関連してであるが、すすく園があるが、小規模で指導員も少ない。私たち主任児童員が見学させていただくにも、相談者の人権を配慮されているとこのことで見学させていただけない。やはり、申し訳ないが天草市は遅れていると思う。幼稚園では職員が良く学習し、徐々に専門的な指導がなされていると毎年見させていただいている。やはり、幼児から義務教育に繋げていく時、早期発見、早期治療と昔から言われているので、もっと職員の専門性を高めていく中で公立幼稚園の在り方をもう一度しっかり見直してみても良いのではないかと。それから来年度の入園児が少ないけれども、無償化になった時に分かっていることだったと私は思っている。今まで教育委員をさせていただいているが、この3年の間に私立幼稚園・保育園も英語教育を行ったり、体育関係を行ったり本当に進んでいた。公立幼稚園、ましては教育委員会所管の幼稚園が遅れてはいけないのではないかと一生懸命言ってきた。他の保育園は頑張っている。公立幼稚園も英語教育を始めたり、義務教育に合わせて始めたところである。この幼児教育の無償化が一つのネック、きっかけになっていく。これからまた公立幼稚園をどの様に義務教育と合わせていくのか、また、他の私立幼稚園・保育園とどの様にレベルを上げていくのかをこれから考えていかなければならないと思っている。

吉森委員： 大変素晴らしいことだと思う。逆に言えば、転入してこられた方々に即対応できるような体制を整えることができれば、天草は良いところと思われる。ひいては天草の発展のためになると思うので、どんどん改革していただきたい。

石井教育長： 思っていた以上に丁寧にやっていかなければならない。絶対数が限られているため大変であると感じたところである。来年度中に預かり保育を試行的に始めることは決まっている。体制を整えてやっていきたい。

(2) 令和元年第4回市議会定例会一般質問の概要について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 定例会資料1ページからをお願いします。令和元年第4回市議会定例会は12月3日に開会し、12月16日及び17日の2日間において9名の一般質問が行われ、教育委員会関係では五通議員、赤木議員の2名から質問が行われた。質問及び答弁の概要については、資料のとおりまとめています。内容としては、がん対策の充実について、子育て支援策について、子どもの眼科検診について及び子どもの防犯対策についてに関するものであった。質問及び答弁内容については資料をご覧ください。

石井教育長： 事務局から報告があった。何か質問等はないか。

蓑田委員： 3ページにある五通議員のがん教育についての内容であるが、学校薬剤師でもがん教育に関しては薬剤師側からもアプローチしていった方が良いのではないかと。学校薬剤師会でも話が上がっている。がんは身近な病気でも、まだ怖い病気イメージあるのでそれを正しく伝えた方が良いのではないかと。30校のうち28校が実施していると答弁されているが、具体的にはどのような内容で実施されているのか。学校薬剤師会には依頼が来ていないが、専門の方が話をされているのか。

河内学校教育課課長補佐： 内容については文部科学省又は熊本県教育委員会が発行しているパンフレットがある。これを使用している学校がほとんどである。記載のとおり令和3年度からであるが中学校学習指導要領においては、「がん教育について取り扱うものとする。」とすることで中学校では必須になる。小学校においても保健の授業を中心に組み込まれている。今年度は全小中学校で実施される。基本的には学級担任が学級活動または保健の授業で行っている。場合によっては、養護教諭も参加して授業が行われている。

石井教育長： ゲストティーチャーとして学校医または学校薬剤師にお願いしている学校はないのか。

河内学校教育課課長補佐： 確認していないが、蓑田委員がおっしゃったように学校薬剤師を含めてゲストティーチャーは効果があると思われるので検討していきたい。

木下委員： 子どもの見守りであるが、本渡北小学校が例として挙げられている。毎朝の登校時の見守り、下校時は学年の下校時間に合わせて見守りをボランティアの方がされている。頭の下がる思いであり、感謝している。

蓑田委員： 本渡北小学校の保健委員会に出席しているが、4ページにある眼科検診について視力が低下しているということで、年に1回、眼科医が検診されている。学校医の意見であるが、眼科医は人数が少ないので負担がある。眼科検診は医者でもなくても検査はできるので、眼科検診の原状について話をされる場合は、眼科医が必要な場合と他の方で代理ができる場合、そして学校医に負担がかからないように折り合いが良いところで、子どもたちの視力のために協議いただきたい。

長元部長： 眼科医、他の医師が混在していることは聞いている。幸いなことに子ども医療費が無料になったため、むしろ気づきがあれば受診し治療に繋げていく形でフォローできる体制になったので、蓑田委員の意見は参考にさせていただきたい。

木下委員： 保護者や児童・生徒に視力の低下しないよう啓発を繰り返ししていただきたい。

長元部長： スマートフォン等は目に負担がかかる。併せて啓発していきたい。

行合委員： 学校の取組みで、視力回復で目の周りを指圧して視力が回復してきているとの報道をテレビでよく見る。天草市ではこれを学校で取り組むことは考えていないのか。

小森学校教育課課長補佐： 視力を回復する取組みをしている学校があるとは聞いていない。視力の低下を防ぐために養護教諭が保健室の前や保健だよりにより目を休める、冷やす、遠くの景色をしばらく眺める等を文書で示している。

(3) 令和2年2月行事予定について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 定例会資料7ページをお願いします。2月の行事予定について掲載している。2月1日(土)には教育力活性化推進大会を市民センターにて開催する。4日(火)には本渡北幼稚園の経営訪問を行う。14日(金)14時から教育委員会定例会を本会場で行う予定としている。19日(水)13時から本渡中学校の研究発表会が開催される。26日(水)には教職員定年退職者感謝状贈呈式を行う。2月の行事予定については、以上のとおりである。

なお、25日(火)に市議会定例会が開会予定である。

7 その他

石井教育長： その他であるが事務局又は教育委員から何かないか。

岡田生涯学習課長： 本日図書館だよりを配布させていただいた。中央図書館は本月より臨時休館をしているので発行がない。他の3図書館については、河浦図書館のみ本日配布している。先ほど教育長より話があったが、年始早々、9地区の成人式に出席いただきお礼申しあげる。各地区の成人式の出席率を集計したので配布させていただいた。今年度は市全体で86.13%であった。昨年度が85.7%であり、住民基本台帳に記載のある成人者全員に案内をしている。人口の増減により変動はあるが、出席率は毎年高い。成人年齢の見直しにより18歳に引き下げるのが報道されている。天草市では令和4年度をめぐり10地区の開催方法等の見直しについてアンケートを新成人及びその保護者を対象に実施することとしていた。併せて、民法改正により成年年齢の引き下げが実施されることを受けて、アンケート項目に追加し、成人年齢の引き下げによる成人式の時期や在り方についてを聴取した。来年度までには方向性を決めていかなければならないので、集計が終わったら教育委員会にもアンケート結果を報告したい。

石井教育長： 何か質問等はないか。

長元部長： 10日付けの新聞ではいろいろな意見が飛び交っていた。18歳が良いという意見と、やはり成人式ではないが、20歳で実施した方が良いという意見がある。18歳で実施する意見では、高校生が主体となるので正月にせず夏休みに実施する。メリットとして着物を着なくても良く経済的な負担がなくなるという意見がある。逆に20歳の意見としては同窓会的な意味合いもあるのでやはり20歳が良い、18歳は近すぎる。熊本市では、美容室の組合から20歳で実施して欲しいとの申し入れがあった。委員からも意見があればこの機会に願います。

石井教育長： 熊本市の方向性は20歳であった。

黒鶴委員： 成人年齢が18歳になっても、成人式は別にしても良いのではないかと。世の中がこんがらがってくる。

吉森委員： 飲酒は20歳からである。その辺が変わらなないと。選挙権が18歳になっただけである。

長元部長： 去年、一般質問で牛深では現在夏に成人式を実施しているが、正月にできないかの意見もあった。

黒鶴委員： 経済的な余裕がでてきたのではないかと。

石井教育長： ただし、何名くらいが正月に成人式を望んでいるのか分からない。

木下委員： 18歳で選挙権を持つということは良いことである。成人式を見ていて、20歳で大人としての意識を固めるという意味で、20歳での成人式も良いと思っている。18歳は受験の時期で成人式の気持ちになれないのではないかと。いろいろな考えがあり、一概には言えないが。

行合委員： 現在、成人式がそれぞれの地区で開催されている。中学校の時に不登校だった子どもが成人式に参加できている。これが18歳であれば、まだまだ記憶が新しく参加できないのではないかと。本当に学校に行けなかった子どもが成人式に参加していて、お母さんも泣いていらっしゃる。それと、大学入試、専門学校の受験の真っ最中が1月・2月である。落ち着いて成人式に参加できるのかと思う。それから、先ほど話があったように同窓会的な意味合いもある。今年高浜地区では同窓会があったそうである。恩師を囲んでかは分からないが、それを考えたときに18歳という意見もあるが、20歳の方が皆が穏やかに会え、良い成人式になるのではないかと。

長元部長： 天草市のもう一つの争点として、1ヶ所で開催するのか、今まで通り各地区で開催するのかアンケートの質問にもある。そこも意見が分かれる。合併したので1カ所という意見と、人数の多い少ないではなくまだまだ地域での意見もある。

行合委員： 新成人の中に左官の見習いがいた。それを副市長が素晴らしいねと褒められ、紹介された。それが、今までと違った成人式で良かった。新しい世代に色々なことを吹き込む、そのような場であると改めて思った。

長元部長： きめ細やかさは各地区で行った方が良い。

吉森委員： 今は保護者もほとんど参加される。1カ所で行うと参加できなくなる。地域の特色を生かした方が良いのではないか。

長元部長： 市民センターの収容人数は700人である。保護者は出席できない。

吉森委員： 私が出席した地区の成人式では、現状の報告、これからの抱負、家族への思いをひとりひとり発表していた。それを聞いて良いと思った。個人的には各地区での開催が良いのではないかと思う。

行合委員： 私の地域では出席していただいた恩師から成人者へのメッセージがある。これも良い。そこそこで特色があり、恩師が子どもたちに思いを伝えられる。素晴らしいものである。

石井教育長： それぞれの地区の特色はある。1カ所ですると特色がなくなる。

岡田生涯学習課長： 3月の定例会ではアンケート結果をお示しできると思う。

石井教育長： 他に何かないか。

渡邊学校給食課管理係長： 本日、ふれあい給食の案内状を配布させていただいた。よろしく願います。

石井教育長： 複合施設が完成目前である。図書館は10万冊にICタグを付けている。大変な作業である。4月1日のオープンは決まっている。本が全部入ると壮観だろうと思っている。ICタグを付けることによって貸出返却業務の効率化により、利用者の利便性向上につながるので、総がかりで行っている。

柴田教育総務課長： 工事の進捗状況にもよるが、3月には臨時会等もあるので機会を作り、委員にも施設を見学していただきたいと考えている。

石井教育長： 他に事務局から何かないか。なければ本日の会議を閉じる。お疲れ様でした。